

平成31年度岩美中学校（生活指導部）部 2学期マネジメント

理想とする生徒像	年間目標	① よりよい生活、より充実した生活を送るために自ら考えて行動できる生徒の育成
自己決定し、責任を持って行動できる生徒		② 各分掌に係る委員会活動の活性化 ③ 悩みを打ち明けることができる教師と生徒の信頼関係づくり

目標番号	1学期に目標を達成するための活動	活動内容	責任者	8月・9月	10月	11月	12月
①ア	睡眠時間の確保、メディアの使用時間の削減及び家庭学習時間の確保を目的としたフォーサイトの有効活用	生活リズム定着強化週間の設定（フォーサイトの記述の活用） ＜生活振り返りアンケート＞ ○睡眠時間 7時間以上 [65%] ○メディア使用時間2時間以内 [65%] ＜フォーサイト集計結果＞ ○家庭学習時間 第1学年 1時間40分以上 [60%] 第2学年 2時間20分以上 [60%] 第3学年 3時間以上 [60%]	丸田		強化週間（睡眠時間） ＊具体的な啓発活動の実践 10/14（月）～20（日）		強化週間（家庭学習時間 メディア使用時間） ＊具体的な啓発活動の実践
①イ	“もうひと手間”の実践 ＜Q－U＞ みんなのためになることを自分で見つけて実行している。 回答4 [40%]	“いいところ見つけ”の実践→発信	坂口	いいところ見つけの記入			発信（たより等）
②	生徒による「企画→実践・発信→振り返り活動」の実践 ＜生活振り返りアンケートor生徒質問紙＞ （新規）委員会や係活動において、自分たちで考えた取り組みに、積極的に取り組んだ。 [60%]	1委員会1企画の実践	各担当	後期第1回専門委員会 9/30(月)	実践		振り返り
③ア	生徒と寄り添う時間の確保 ＜生徒質問紙＞ 2学期末 ○困ったことを、相談したり分からないことを教えてもらえる先生がいる。 [85%] ○友だちや先生から大切にされていると感じる。 [90%]	＊昼休憩時 学級担任→13：20まで教室で生徒と共に 担任外 →校内巡視のポイントの徹底	居組	継続実践			
③イ	生徒に寄り添う姿勢への転換	△△くん、△△さんでの呼名の徹底	大谷	特別支援・教育相談 研修会 講師：谷口SC ＊時期未定			継続実践